

新潟県人会・佐渡支部

新潟県人会・佐渡支部 通信

第8号

2019.1.11.

佐渡の魅力をいくつ語れるのか！？

健康スポーツ学科 脇野 哲郎（旧金井町出身）

私は1980年3月に佐渡高校を卒業しました。いわゆる生まれも育ちも佐渡。

高校までは、まさに、東京などの都会にあこがれ、どうしたら早く外に出るかしか考えていない面がありました。

新潟県の教員になり、仕事で精一杯。盆と正月、仏事があったときに佐渡に帰るのがせいぜいというところでした。

就職して最初の6年間は、長岡市近辺に勤務し、7年目からはずっと新潟市で勤務しました。

月日は流れ、2006年、ちょっと驚きの河原田小学校への勤務になりました。少しだけ、もっと自分が知らない佐渡の地区もいいなと思いましたが、とにかく、嬉しかったです。両親が健在だったのでまさしく実家に居候して、勤務しました。佐渡高校のおひざ元というような場所ですから、本当にありがたすぎる勤務地でした。

最初はかなり緊張しましたが、子ども、保護者、地域の皆さんに本当によくしていただき、助けてもらい、たくさんのすばらしい思い出ができました。

河原田小学校がトライアスロンのスタートとゴールだったことがあり、すぐに、学校職員でリレーチームを作って参加することにしました（かなり無理やり参加させた職員もいましたが）。ロングライド大会にも毎年参加！ 今の佐渡はスポーツイベントも魅力の一つです。

このようなことを通して、「佐渡に生まれ育ったにもかかわらず、自分がいかに佐渡のすばらしさを知らなかった」ということを本当に強く感じました。気候、景色、食、人、…本当に魅力満載です。

ここで、佐渡のすばらしさを紹介するときりがないので控えますが、変わらぬ魅力、新しい魅力…たくさんあります。

私は、これからも、いつも故郷佐渡に注目し、よさを、周囲のより多くの人に伝えたいと思っています。今後の佐渡支部の会では、そんな話題でも盛り上がりたいと思っています。

県人会・佐渡支部全員集会 “ホッと一息、佐渡の会”



平成 31 年度の佐渡支部の会員は 43 人です。

山本学長先生をはじめ、教職員は 4 人を含め総勢 47 人です。

今回は、昼休みのテストや実習等で「残念ながら…」という連絡も沢山いただきました。本当にありがとうございました。

面倒なことは何もありません。これからも、佐渡という縊のもと、一緒に楽しい時間を過ごすことを第一にし、結果として何かあった時に頼りになる人と人とのネットワークを強めていきたいものです。

よろしくお願ひいたします。